







お花の栽培シリーズ「キンセンカ」

2012年3月	弥生(やよい)・桜月(さくらづき)・花見月(はなみつき)・夢見月(ゆめみつき)・晩春(ばんしゅん)	●大地が本格的に活動しはじめる季節
●日ごとに日ざしが強くなり、天気は周期的に変わりがちです。日本海側でも、雪の日は少なくなり、春の兆しが見え始めます。草花の待ちに待った春がやってきます。		
庭木の作業	・落葉樹・常緑樹の植え替え	
草花の作業	・1年草や宿根草は、地ごしらえをして中旬までには植付けを終わらせる。 ・夏咲き球根は、分球して植えつける。	

今月の誕生花	ネモフィラ	
今月の花	花言葉/どこでも成功・可憐・私はあなたを許す	
	<p>ネモフィラはハゼリソウ科の一年草。原産地は北アメリカ。 季節は3～5月。花の色は青、白、黒白。 属名のネモフィラは、ギリシャ語の「nemos(小さな森)」と、フィロ「phileo(愛する)」という意味にちなんでつけられたといわれます。 和名は葉の形が唐草模様に似るため「ルリカラクサ(瑠璃唐草)」。またこの澄んだ青い花は「baby blue eyes(ベイビー・ブルー・アイズ)」「赤ちゃんの青い目」という可愛い英名を持ちます。 群植すると小花が咲き溢れ、見ごたえ充分です。</p>	

お花の栽培シリーズ

今月の花 キンセンカ

<p>日当たり</p>  <p>日なた</p>	<p>水やり</p>  <p>乾燥きみ</p>	<p>草丈</p>  <p>20～60cm</p>	<p>気温</p>  <p>10～20℃</p>	<p>花色</p> 
--	--	--	---	---

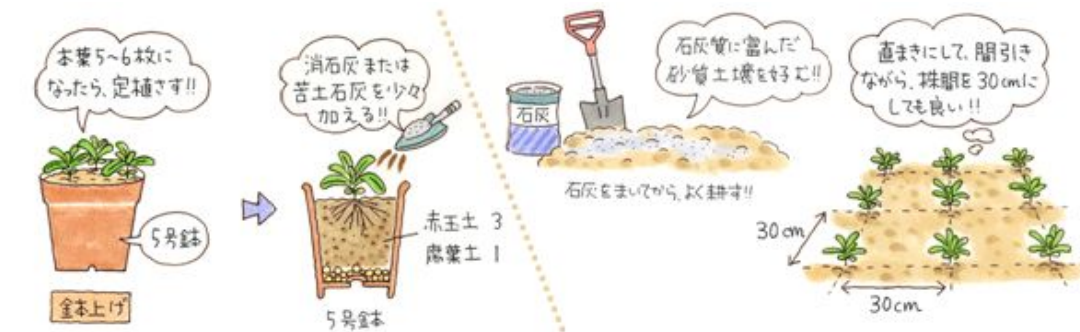
全国どこでも栽培できますが、強い乾燥地や湿地では栽培に向きません。鮮やかな黄色の花で、切り花や花壇栽培に長く親しまれています。切り花用の品種もありますが、花壇や鉢植えで育てるには、草丈が低くたくさん花を咲かせるデライト系が向いています。水はけと保水性がよく、石灰質に富んだ砂質土壌を好みます。火山灰土の場合は、リン酸分を多くすればよく育ちます。種は1040粒と大粒。寒冷地では3~4月に種まきをします。関東以南の地域で春まきをすると、花が貧弱で株も大きくならないので、9月にまくようにします。通常は箱などに種をまいて春に植えますが、直まきして、発芽したら間30cmとなるように、適宜間引いていくというやり方もできます。越冬中は、アブラムシがつかないように注意します。



●種まきからの育て方



●植えつけのやり方



キンセンカはできるだけたくさんの花をつけてボリュームを出したいもの。そのボリュームを出す方法が摘芯。ある程度育ったら、頂上を切って芯を止めます。側枝が5本以上も出てそれぞれに花がつけます。



●年間スケジュール

状況	花期	
栽培	屋外の 日当たりがよい場所	
置き場	屋外の 日当たりがよい場所	
水やり	表土が乾かないようにときどき与える	表土が乾いたら与える (1日1回)
肥料	元肥	追肥は育ちが悪いときに少量与える
病害虫	越冬中はアブラムシがつかないように注意する	アオムシに葉を食べられないように早めに殺虫する
作業	種まき (寒冷地) 植えつけ	種まき 植え替え
葉	霜よけ	